



福島第一原子力発電所周辺で活動する 保健師の被ばく量調査報告のお知らせ

開催日時 平成 23 年 9 月 13 日（火）14：00～15：00
開催場所 国立がん研究センター中央病院 管理棟 1 階 第 1 会議室

出席者 国立がん研究センター
嘉山 孝正（理事長）
成田 善孝（企画戦略室長）
中釜 斉（研究所長）
伊丹 純（中央病院 放射線治療科科長）
祖父江 友孝（がん対策情報センター がん統計研究部長）
加藤 雅志（企画戦略室副室長、広報室長）

東京医療保健大学医療保健学部看護学科 准教授
住民とともに活動する保健師の会 代表
渡會 睦子

資料 1 福島県原発周辺地域における保健師のガラス線量計（ガラスバッジ）着用による蓄積放射線量測定について

【関連ある国立がん研究センター記者会見情報】

<http://www.ncc.go.jp/jp/information/press/>

2011 年 03 月 28 日 「今回の地震、津波による種々の問題点における発がんについて」

2011 年 04 月 14 日 「放射性物質による健康への影響に関する国立がん研究センターからの提案」

2011 年 06 月 07 日 「放射性物質による健康影響に関する国立がん研究センターからの見解と提案」

【放射線被ばくについての公開討論会】

http://www.ncc.go.jp/jp/shinsai/20110622_kokaitoronkai.html

2011 年 06 月 22 日 「安全に暮らすためのエビデンスと対策」